

2015年3月期 第2四半期(累計)  
(2014年4月1日～2014年9月30日)

# 決算参考資料

---

---

2014年11月11日



東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月

資本金:63億352万円



# 目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2015年3月期第2四半期(累計)の 業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2015年3月期第2四半期(累計)の 業績・取組みについて	—————	P7
6. 2015年3月期・2016年3月期の業績予想	—————	P8

## 1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は10社であります。

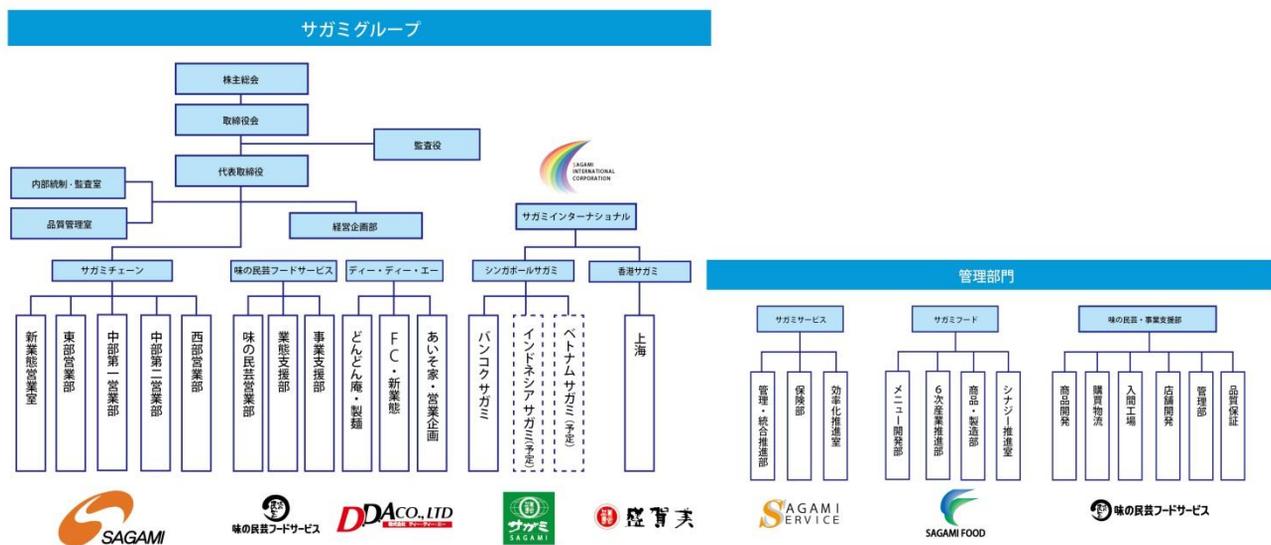
[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
上海盛賀美餐飲有限公司	中国上海市	260,000,000円	飲食店の経営
HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	Hong Kong	10,000,000香港ドル	海外事業(東アジア)の統轄 飲食店の経営
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	1,000,000米ドル	海外事業(ASEAN)の統轄 飲食店の経営
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	投資事業
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	海外事業の統轄

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

HONG KONG SAGAMI CO.,LTD. (旧 SAGAMI INTERNATIONAL CO.,LTD.)	----2012年10月22日
SINGAPORE SAGAMI PTE.,LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態、サガミ村業態、さがみ庭業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、2014年1月7日に日清食品ホールディングス株式会社より株式を取得しグループ化したしました。2014年3月期末で発行済株式の全てを取得し100%子会社となりました。主に味の民芸業態、水山業態を経営しております。味の民芸フードサービスは社歴も長く、関東地域を中心に知名度もあり、中部地域を中心に展開しているサガミチェーンとグループ化することで、地域的な補完と食材の共有によるシナジーが期待できます。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・イーは、主にどんどん庵業態、あいそ家業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に管理業務、保険業務、効率化推進業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造、六次産業推進を行っております。
- ◆ HONG KONG SAGAMI CO.,LTD. は、主に東アジア地域での事業の統轄を行います。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、2014年4月に海外での事業展開の統轄会社として新設いたしました。

## 2. 店舗展開の状況

	2014年 3月期	2015年3月期 第2四半期			2015年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	127	1	—	128	4	—	131
サガミ村 (SC店)	2	1	1	2	1	1	2
さがみ庭 (SC店)	0	2	—	2	2	—	2
さがみ庭 (御器所店)	1	—	—	1	—	—	1
陣屋サガミ (新城PA店)	1	—	—	1	—	—	1
盛賀美	3	—	—	3	—	1	2
どんどん庵	42	—	3	39	5	8	39
まるど食堂	1	1	—	2	1	—	2
あいそ家 (鹿山食堂含む)	11	—	—	11	1	—	12
あいそ家 Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
もんぺとくわ	1	—	1	0	—	1	0
味の民芸 (FC5店舗含む)	60	—	1	59	—	3	57
和食めん処さがみ	1	—	—	1	1	—	2
水山 (FC1店舗含む)	9	—	2	7	1	3	7
びんむぎ	0	1	—	1	—	—	—
JIN JIN	5	—	1	4	—	2	3
その他	2	—	1	1	—	1	1
フランチャイジー店舗	5	—	—	5	—	—	5
海外 上海	4	—	1	3	1	—	5
海外 タイ	—	1	—	1	2	—	2
海外 インドネシア	—	1	—	1	1	—	1
海外 その他	—	—	—	—	3	—	3
合計	280	8	11	277	23	20	283

\*業態毎の店舗展開の詳細は專頁に記載しております。

\*2014年9月30日現在

## ○ 業態毎の店舗展開について

### <国内>

- ◆ 和食麵処サガミ業態では、2014年4月に「和風ビュッフェもんぺとくわ江南店」を業態転換し、新モデルの「和食麵処サガミ 江南店」としてオープンいたしました。既存の和食麵処サガミには無いドリンクバーやサラダバーを設置しております。これにより、和食麵処サガミは128店舗となりました。
- ◆ サガミ村(SC店)業態は、ショッピングセンターのフードコート店舗として、開発した業態であります。  
2014年7月に千葉県のイオンモール八千代緑が丘店のフードコートに、関東圏初出店した一方、同7月に「サガミ村大津バロー店」を閉店いたしました。  
これにより、サガミ村は「イオンタウン名古屋西店」と「イオンモール八千代店」の2店舗となります。
- ◆ さがみ庭(SC店)業態は、ショッピングセンターのレストラン街店舗として、開発した業態であります。  
2014年4月に「イオンモール各務原店」を、同年6月に「イオンモール名古屋茶屋店」を出店いたしました。(※さがみ庭御器所店は高級和食店舗であります)
- ◆ どんどん庵・まるど食堂業態では、2014年7月に「どんどん庵苗代店」を「まるど食堂小幡店」に業態転換いたしました。また、「どんどん庵美濃焼卸センター店」と、「どんどん庵刈谷店」の2店舗を閉店したことにより、どんどん庵は39店舗、まるど食堂は2店舗となりました。
- ◆ あいそ家、製麺大学業態、フランチャイジー店舗(丸源ラーメン3店舗、たい夢(たい焼き)2店舗)の当期間での店舗数の増減はありません。
- ◆ 味の民芸業態では、2014年7月に「味の民芸千葉店」を閉店したことにより、59店舗となりました。
- ◆ 水山・びんむぎ業態は、味の民芸フードサービスが経営する手延べうどんを中心とした小型業態であります。2014年7月に「びんむぎ軽井沢店」を軽井沢のプリンスショッピングプラザに開店した一方、契約満了により、2014年9月に「水山代々木上原店」を、同9月に「水山相鉄ジョイナス店」を閉店いたしました。これにより、水山は7店舗、びんむぎは1店舗となりました。
- ◆ JIN JIN業態は、味の民芸フードサービスが経営するパスタを中心とした業態で、ASIAN LEAFは、アジア料理を中心とした業態であります。2014年4月に「JIN JIN霞ヶ関店」を閉店いたしました。

### <海外>

- ◆ 2014年4月に、「上海盛賀美福州路店」を閉店いたしました。これにより、上海盛賀美は3店舗となりました。
- ◆ 2014年4月に、タイのショッピングモールCentral Plaza-Rama 3に「サガミ SAGAMI」を出店いたしました。タイには今期中に2号店の出店を計画しております。
- ◆ 2014年7月に、インドネシアのショッピングモールPlaza Senayanのフードコートに「SAGAMI」を出店いたしました。
- ◆ 海外展開につきましては、5年でASEAN地域に20店舗(内、タイ10店舗)の展開を目標としております。

以上により、2014年9月末のサガミグループ店舗数は277店舗であります。

## 3. 2015年3月期 第2四半期(累計)の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2014年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 2014年5月12日発表	2015年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 差異
売上高	9,851	12,500	12,708	208
営業利益	328	240	239	△1
経常利益	344	260	275	15
当期純利益	317	180	131	△49
一株あたり 当期純利益	12.73	7.20	5.25	△1.95

\*当初計画とは、2014年5月12日に発表した計画です。

○ 前期との比較について

主力業態『和食麺処サガミ』の同期間の既存店推移

	2014年3月期 第2四半期(累計)	2015年3月期 第2四半期(累計)	前年比
売上高	7,905百万円	7,920百万円	100.2%
客数	6,698千人	6,717千人	100.3%

## 4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%)	2014年3月期	2015年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	18,354	18,078
純資産	10,952	10,983
自己資本比率	59.6	60.7

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2014年3月期 第2四半期 (累計)	2015年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	256	234
投資活動によるキャッシュフロー	61	△271
財務活動によるキャッシュフロー	△467	△242

○ 設備投資について

連結設備投資は413百万円(2014年3月期第2四半期累計実績286百万円)となりました。

○ 減価償却費について

減価償却費は234百万円(2014年3月第2四半期累計実績192百万円)となりました。

## 5. 2015年3月期第2四半期(累計)の業績・取組みについて

### ○ 2015年3月期第2四半期(累計)の業績について

- ◆ 主力業態である「和食麺処サガミ」の2015年3月期第2四半期(累計)につきましては、7月の大型台風8号及び8月の大型台風11号の影響による売上減と、深夜営業時間の短縮による売上減があったものの、消費税増税による影響が予測以上に少なく、前頁記載の数値の通り、売上高、客数共に前年に対し微増となりました。
- ◆ 「和食麺処サガミ」の次に店舗数の多い、「味の民芸」につきましては、グループ間でのシナジーおよび赤字店舗の早期閉店などにより、前年同期比較で1億円以上の利益改善があり、通期を待つことなく、第2四半期(累計)の営業利益段階で黒字化いたしました。引続き、本部・工場部門の統合、商流・物流部門の統合など、グループ間シナジーの推進を、スピードをもって行ってまいります。
- ◆ その他の業態の売上につきましては、「和食麺処サガミ」同様に大型台風の影響があったものの、営業時間の変更等が軽微な為、前年に対し好調に推移しております。
- ◆ サガミチェーン単体の利益面につきましては、原材料および人件費、水光熱費の高騰などにより、前年を下回る結果となりましたが、5月12日発表の当初計画に対しては、ほぼ計画通りの結果となりました。

### ○ 2015年3月期の主な取組みについて

- ◆ 主力業態の和食麺処サガミでは、2014年7月24日より夏季期間中、そば食べ放題となる『ざるそば祭り』を実施いたしました。同企画は昨年の夏に続き、2回目となります。昨年と比較してお客様の認知も高まっており、また、テレビCM・チラシ折込の効果もあり、新規の若年層のお客様をはじめ、非常に多くのお客様にご利用戴きました。
- ◆ 味の民芸では、2014年8月22日より7日間、味の民芸の代名詞でもある『手延べうどん』の食べ放題企画を実施いたしました。和食麺処サガミの『ざるそば祭り』同様に客数増に大きく貢献した企画となりました。
- ◆ 前期は、上場以来初めて小型サガミをショッピングセンターのフードコートへ『サガミ村』として出店いたしました。今期はショッピングセンターのレストラン街へのチャレンジとして、『さがみ庭イオンモール各務原店』と『さがみ庭イオンモール名古屋茶屋店』を開店いたしました。両店舗とも順調に推移しております。
- ◆ 海外では、2014年4月にタイのショッピングモールCentral Plaza-Rama 3にASEAN 1号店となる『サガミ SAGAMI』を出店した他、7月にはインドネシアのショッピングモールPlaza Senayan フードコートにASEAN 2号店を出店いたしました。



4月にASEAN1号店としてOPENしたタイのRAMA-3店



6月にOPENしたイオンモール名古屋茶屋店



『ざるそば祭り』の折込チラシ

## 6. 2015年3月期・2016年3月期の業績予想

### ○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	19,521	24,700	26,300
営業利益	529	580	730
経常利益	575	625	780
当期純利益	595	385	510

### ○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	16,058	16,500	16,900
営業利益	514	550	640
経常利益	553	585	670
当期純利益	506	375	420

### ○ 2015年3月期について

- ◆ 2015年3月期の通期業績につきましては、2014年5月12日発表の計画から変更いたしておりません。
- ◆ 連結ベースの業績予想の売上増加は、味の民芸フードサービスのグループ化によるものです。(前期はB/Sのみの取り込み)
- ◆ グループ化した味の民芸とのシナジー推進を進めるとともに、資金の社外流出を抑制する為に子会社へ店舗メンテナンス業務を集約など、全社的な効率化推進を進めております。
- ◆ 店舗展開につきましては、通期で業態転換を含み23店舗の出店と、20店舗の閉店を計画しております。第2四半期までの店舗展開は計画通りに進んでおります。
- ◆ 前期に、店舗意識向上のため社内オーナー制度を3店舗に導入いたしました。導入3店舗全て大きく利益改善したことから、今期は社内オーナー制度対象店舗を13店舗に拡大いたしました。前期のオーナー店舗同様、利益面で徐々に効果が出てきております。
- ◆ 今期より全社的改善提案制度を導入し、パートナーを含む全従業員から様々な改善提案や建設的な意見を募っております。全意見を各専門部署で検討した後、有益なものについてはプロジェクト等で早期実現に向けた取組みを行っております。
- ◆ 関東地域は今後も人口の増加が予測されており、また、ASEAN地域は著しい経済発展をしている上、『和食』の人気も非常に高い地域であります。両地域は中部地域同様に最重要地域と位置付け今後も注力していきます。
- ◆ 前期に引き続き、お客様起点思考の視座を堅持しながら、店舗の改善を進めると共に、「科学的経営の推進」「コストの聖域なき見直し」「経営基盤の強化」を更に進めて参ります。また、テイクアウト・デリバリーも引き続き強化いたします。
- ◆ 2015年3月期は、1,200百万円の設備投資を計画しております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

### (1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕する」「企業を通じてお客様に奉仕する」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

### (2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

### (3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実事に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

### (4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

### (5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。